

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成23年 7月 28日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 京セラ株式会社 代表取締役社長 久芳 徹夫

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	京セラグループ（京セラ株式会社及び国内関連会社 合計195拠点）
導入年月日	1996年 10月 29日
認証番号	EC99J2032
基本方針	【環境方針（基本理念より）】 京セラは創業以来、「敬天愛人」の社是のもと「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営の理念とし、すべてのものを生かそうとする「宇宙の意志」と調和する心をもって仕事にあたってきている。これはまさに今日の地球環境問題に取り組む企業に求められる考え方を先取りしており、企業活動は人間の尊厳を維持し、社会の持続的発展を可能にするものでなければならないことを指し示している。京セラグループはこの理念を基本として、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の形成に向け、更に目的意志を高めて、環境保全、地球環境商品開発、省エネルギー・地球温暖化防止、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理、生物多様性保全等の環境対策について総合的な取り組みを行い、より積極かつ継続的に地球環境保護に貢献する改善活動を行うものとする。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	【第6次環境安全推進計画より】 ①温室効果ガス排出量削減 1990年度の温室効果ガス排出量原単位を基準として、2010年度には 44%の削減を行う。 ②産業廃棄物排出量削減 2007年度の産業廃棄物排出量原単位を基準として、2010年度には 15%の削減を行う。
目標を達成するための取組の内容	①温室効果ガス排出量削減 コンプレッサー台数制御システムの導入、トナー製造ライン粉黛輸送用プロアの省エネ、高効率ヒートポンプの導入、太陽光発電システムの導入、グリーンカーテンの取り組み ②産業廃棄物排出量削減 太陽光発電システムの製造に伴う産業廃棄物の削減、使用済み廃油の再利用、研磨工程から発生するシリカ廃液の長寿命化による削減、排水処理設備の改善による汚泥量の削減、中間処理設備の処理能力増加による削減
目標を達成するための取組の進捗状況	上記取り組み内容については全て実施済みです。 今後、同様の取り組みを各拠点に展開することで更なる削減効果をはかってまいります。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①温室効果ガス排出量削減 目標44%削減に対し30.2%の削減(京セラ単体)、23.6%の削減(国内グループ会社) ②産業廃棄物排出量削減 目標15%削減に対し30.5%の削減(京セラグループ全体)
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況確認については、定期確認として年1回、年度末に遵守確認を行っております。また、法改正時には随時、適用確認を行っております。 平成22年度の定期遵守確認において、法令違反はなく、また行政指導もありませんでした。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムの評価・見直しについては、定期的なマネジメントレビューを年1回、年度末に実施しております。 平成23年度は、「第7次環境安全推進計画」の開始年度となります。現行システムの運用を通して本計画の推進をはかってまいります。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。